

令和5年度第7回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録

日時・場所：令和5年10月17日（火）15:30～17:00 評議会室

出席者：井手理事長、宮川副理事長、小泉理事、松岡理事、中嶋理事、林理事、上原理事、山本監事、元永監事

事務局：澤野事務局次長、山田総務課長、高木財務課長、寺村経営企画課長、川分学生・就職支援課長、郡田教務課長、山中地域連携・研究支援課長、堀江高等専門学校開設準備室長、前田課長補佐、藤居主幹

令和5年度第6回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録（案）は原案どおり承認された。

議 題

（審議事項）

1 滋賀県立大学高等専門学校施設整備事業に係る入札公告について

堀江高等専門学校開設準備室長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

〔主な意見・質疑等〕

- ・質問・意見受付に関して、契約期間が長期に及ぶことに伴う物価高騰への不安、および用地に瑕疵がある場合の取り扱いについての質問にはどのように答えられたのか。
 - 物価変動リスクに対する考え方は11月の入札公告の中でお示しする予定。なお、今回の補正予算は令和6年9月の契約時点までの物価高騰を考慮している。また、契約締結後についても一定水準を超えた場合は対応する方向で検討しており、詳細は入札公告の際にお示しする。
 - 用地の瑕疵については、実施方針の中で責任の所在を示している。明らかになっていない瑕疵は発注者側の責任になるものと考えている。
- ・人員の確保が難しい情勢の中、工期の遅れも考えられるが、どのような対応を考えているか。
 - 現段階では工期を延ばすことは考えていない。
- ・「特定事業の選定」の資料について、なぜ△2.5%の縮減効果があるか等、詳細なデータがなく、わかりにくい。
 - 従来方式と比較してPFI方式の場合、一括発注によるコスト削減や発注者側の人員削減の効果がある一方でSPCの維持管理費やアドバイザーに費用がかかる。これらと比較した結果、286百万円の費用が削減されるということである。詳細データの公表は予定していない。
- ・想定されるPFI事業の事業費、例えばSPCの登録費、業者へ支払う費用等の金額について、役員会で明示していただきたい。
 - 検討させていただきたい。

- ・採点基準は準備されているか。
 - 審査項目ごとの採点基準は、別途設置している PFI 事業者選定審査委員会でご議論いただいております、入札公告時に示す予定である。

- ・人の確保についての進捗状況を教えていただきたい。
 - 高専教員については、来年度以降、本格的に募集していく予定であるが、特に開校準備を担う教員については来年度当初から勤務できるよう準備しているところ。

2 令和5年度補正予算（案）について

高木財務課長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

- ・高等専門学校施設整備事業 PFI の口座は他の口座とは分けて管理することが望ましい。
 - 意見を踏まえ、検討する。

3 公立大学法人滋賀県立大学第4期中期計画（素案）について

寺村経営企画課長から資料に基づき説明があった。個別意見は後日メールで照会をし、そこで出された意見を踏まえ12月の役員会で改めて審議することについて説明があり、原案どおり承認された。

- ・学部・学科の再編は大きな課題であるが、県から与えられたテーマという理解でよいか。
 - そのとおりである。しかし、本学としても、18歳人口が減る中で開学以来約30年間続いた教育体制のあり方を考える機会となるものと考えている。

（報告事項）

1 令和6年度入学者選抜試験の日程について

郡田教務課長から資料に基づき報告があった。

2 令和5年度卒業・修了予定者の進路内定状況等について

川分学生・就職支援課長から資料に基づき報告があった。